

広報 かるまい9

平成22年(2010年) No.618



今月の主な内容

- 豊かな地域社会を実現する税 2~3
- 平成22年度地域懇談会 4~5
- 町成人式 6~7
- 躍動 軽米夏まつり 8

円子小学校100周年記念事業として昭和52年に埋設されたタイムカプセルが8月10日、33年ぶりに地上に姿を現しました。4時間に及ぶ掘削作業で出てきたのは、高さ1.4m、幅1.3mの大きなカプセル。子どもたちもその大きさにビックリ！（関連記事8ページ）

あなたとあなたの納める税が
豊かな地域社会を実現します

公共サービスに必要な費用のほとんどは、皆さんが納めてい
る税金でまかなわれています。道路の整備やごみ処理、医療、
福祉、教育など、身近な日常生活から、環境対策や宇宙開発ま
で幅広い分野に生かされています。税金は、安全で安心で、よ
り快適な日常生活を送るために、みんなで支えあう、いわば「会
費」です。住み良い町を目指した「住民と行政との協働による
まちづくり」をあなたとあなたの納める税が支えています。

軽米町の税収は

般会計の歳入総額は七十一億六百六十一万円。そのうち、自主財源である町税（固定資産税、町民税、市町村たばこ税、軽自動車税）は七億七百三万円で歳入全体の九・九%を占めています。

国の緊急経済対策などにより、国庫支出金などの依存財源が大きく伸びた結果、昨年度の歳入に占める町税の割合は例年より少なくなっています。

「休日と夜間の納税相談窓口」を毎月下旬に開設しています。一方で、納めることができるにもかかわらず滞納になる悪質なケースもあり、町では平成十五年十月、税や保育料、学校給食費、住宅料など、関係課による滞納整理委員会を設置し、それぞれ情報交換しながら収納率の向上に取り組んでいます。

公平感を増大させ、公共サービスの低下をまねくおそれもあり、税の収納対策の方法も、自主納付を前提とした納付交渉から、早期の滞納処分（給与や預金などの債券、動

効果的な滞納解消のため不動産や動産の差押も検討されています（写真はイメージ）

差押件数 (預金、給与、生命保険など)



県と市町村が
整理機構で連携

産、不動産の差押・公売処分の実行へと移行してきています。町でもこれまで債権を中心の差押などで滞納の解消に努めてきましたが、より効果的な解消を図るため、対象を不動産や動産などにも広げるとともにインターネットによる公売も検討しています。

納期内の納付を
忘れなく

での検索の研修など、実務的な情報・技術提供を行い市町村の総合的なレベル向上を図っています。町では、これまで以上に同機構と連携し、収納対策の向上を図ります。

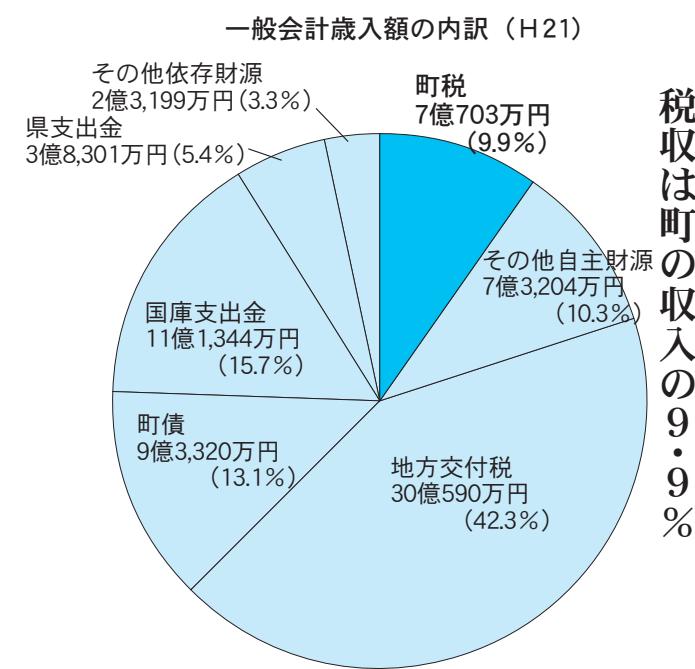
けない事案を市町村から引き継ぎ、法律に基づいて預金や給与、不動産などの財産調査や差押え、公売処分といった滞納処分を専門的に行います。また、市町村担当制により、個別案件の対応の協議や動産差押を目的とした居宅・事務所など

す。別表からわかるように、
納期には数ヶ月の期間がある
ものもありますが、全体的に
みると四月から翌年二月まで
ほぼ毎月、何らかの納期にな
っています。ご自分やご家族
の町税を確認し、計画的な納
付をお願いします。

町内には、各種の税金の納
期限内納付を目的とした納稅
貯蓄組合が八十九団体で組織
され、約二千六百世帯の皆さ

んが加入しています。お互
いに声を掛け合い納付すること
で、納め忘れを防ぐなど、町
税の円滑な収納を支えていま
す。また、安心・確実・便利
な口座振替制度を設けていま
すので、お気軽にご利用くだ
さい。

活力に満ちた豊かな地域社
会の実現のため、これからも
納期内の納付をお願いしま



町の収納対策

で、収納率が低下するとその支払いに支障が出るばかりでなく、二六・七%を占める国からの交付金が減額されるなど、町財政への影響も避けられません。

そのような中で、平成二十一年度の徴収率（現年課税分）は、町税は九七・五%（前年比〇・一%減）、国民健康保険税では九五・二%（同一・二%減）と、ともに前年度を下回つており、収納につけています。

んどの方は厳しい経済状況の中でも、きちんと納付されています。
しかし、病気や失業、倒産など、やむをえない理由で納付できず、翌年度以降に滞納として繰り越される場合があります。町ではそのような方の生活状況に配慮しつつ、納税方法などを相談したり、平日に役場や金融機関に出掛けにくい方のために、日曜日か

※納期限は各月の末日（土・日曜日など金融機関の休業日の場合は、休業日の翌日）。ただし、12月は25日となっています。



(男) スーツ姿でピシッときめた男性陣



(女) 華やかなドレスなどで式に臨みました

interview



神山真喜子さん
蜂ヶ塚出身、大学生

成人という実感はまだわきません。大人としてまだなので、これからもっと勉強して努力して、立派な大人になりたいです。



小野寺秀彰さん
(大町、団体職員)

式を終え、成人という実感が少しわいてきました。地元で働きたいと思い軽米に残っているので、町づくりに少しでも貢献できるように頑張りたいです。

成人式 Photo スナップ。



記念品を受け取る下谷地真梨菜さん



みんな仲良く笑顔で成人!



記念写真の前にハイチーズ



式では軽米町民憲章を唱和



夢と希望を胸に、成人として新たな門出を迎えるました



沢田神楽保存会による神楽を観賞

平成22年度町成人式

二十歳の門出 Departure

午 前十時から開かれた式には、対象者百二十七人のうち百二人が出席。スリーやドレスなど華やかな衣装で式に臨んでいました。軽米高校の生徒によつて進められた成人式。出席者全員で町民憲章の唱和を行つた後、高校生によつて新成人一人ひとりの名前が読み上げられました。山本賢一町長は「二十歳になり成人としての権利ができる義務を果たさなければならぬ。皆さんには町づくりの主人公として、地域づくりや社会づくりに参画し自分たちの町を作つていく」という意識を持つてもらいたい。大きな目標を持ち続けるとともに社会に貢献してほしい」と式辞。新成人を代表して外山和成さん（蓮台野、学生）が「皆さんからのお祝いと励ましの言葉を胸に、これから的人生を

式典終了後のアトラクションでは澤田神楽保存会が現舞を披露。集合写真の撮影後は、同級生と久しぶりの再会といふこともあり、思い出話に花を咲かせるとともに、皆で写真をとるなどして成人を祝いました。

式典終了後のアトラクションでは澤田神楽保存会が現舞を披露。集合写真の撮影後は、同級生と久しぶりの再会といふこともあり、思い出話に花を咲かせるとともに、皆で写真をとるなどして成人を祝いました。

式典終了後のアトラクションでは澤田神楽保存会が現舞を披露。集合写真の撮影後は、同級生と久しぶりの再会といふこともあり、思い出話に花を咲かせるとともに、皆で写真をとるなどして成人を祝いました。

平成二十二年度の町成人式が八月十五日、農村環境改善センターで開催されました。二十歳という人生の節目にあたり、晴れやかな衣装で式典に臨んだ新成人百二人は、眞の社会人としての自覚と決意を胸にしていました。

躍動かるまい夏まつり

夏の祭典・かるまい夏まつりが、八月六日から八日までの三日間にわたり町中心部で開催されました。飾りが飾られた町中心街では、各商店会によるイベントやナニヤドヤラ流し踊りなどが開催され多くの人で賑わいました。



円子盆踊り保存会（写真）が見事4連覇を達成しました

町物産交流館とみちのく銀行軽米支店の駐車場では、青果物や衣料品、飲食品などを軽トラックの荷台で販売する軽トラ市を開催。また特設のカブトむしランドには、多くの子どもたちが訪れ、かぶと虫とのふれいあいを楽しみました。

町中心街の路上でもさまで、さまざまなイベントが開催。大町商店会では、創始のカブトむしランドは大人気

最終日の八日には、午後五時からカシオペア杯争奪ナニヤドヤラ流し踊り大会が行われました。町内外から十二団体、総勢約四百人が出場。審査の結果、最優秀賞には四年連続で円子盆踊り保存会が選ばれました。（関連写真十八、十九ページ）



なにやどやら大会の後の楽しい輪踊り

また行きたいな音更町

町内の小学生二十人と、姉妹町である北海道音更町の小学生二十人との相互訪問による交流が、七月二十七日から二十九日まで本町で、八月一日から五日まで音更町で行われました。子どもたちはホームステイなどを通じて、互いの町の文化や歴史、生活習慣、地理や自然などを体験しました。研修のなかで見て・触れて・食べて・感じた子どもたちの感想をご紹介します。



鶴飼 翔吾くん
(笛渡小5年、左)
戸草内 葉月さん
(小軽米小5年、左)

右は音更町の伊藤友菜さん



鶴飼 翔吾くん
(笛渡小5年、左)
戸草内 葉月さん
(小軽米小5年、左)

右は音更町の伊藤友菜さん

この研修では、友だちになりたい人には、勇気を出して話しかければいいということを学びました。これからは言いたいことは勇気を出してはっきりと言いたいと思います。遠く離れた北海道に仲のいい友だちができるのは私の一生の宝物です。北海道や軽米の他の学校の友だちとこれかも仲良くしていきたいです。

今回の研修に参加して最もよかつたことは、音更町の友だちと仲良くなれたことです。僕は将棋が好きで、偶然にも涼太君も将棋が好きで勝負することができました。僕は一回も勝てなかったけどとても楽しかったです。また涼太君に会いたいので、大きくなったら一人で行ってみたいです。その時までに将棋の腕をみがいておくぞ！

賣井坂 恵矢くん
(軽米小5年、左)

右は音更町の本田涼太くん



音更町発祥の地で記念撮影を行いました

仕事の楽しさを学ぶ



ローソンの仕事を体験した古館慎司君（左）と高橋雄大君



郵便局で窓口の仕事を体験する大橋茉弥さん

カルマイの文化を体験



東京外国语大学の留学生五人が、八月二十一日から二十八日までの八日間、町内の事業所などを訪れて、職場体験学習を行いました。最初のソバ打ちに挑戦する留学生は、ソバ打ちやパークゴルフに挑戦したりと、軽米の文化も体験しました。ソバ打ちに挑戦したクリスさん（シンガポール出身）は「難しかったけど楽しかった。おいしくできました」と笑みを浮かべていました。

軽米郵便局で職場体験した笛渡中の大橋茉弥さんは「窓口や配達などいろいろな仕事をしたけど、窓口では会話をされ、職場体験学習を行いました。ながら楽しくできた。笑顔で接することの大切さを感じた」と話していました。



ローソンの仕事を体験した古館慎司君（左）と高橋雄大君



郵便局で窓口の仕事を体験する大橋茉弥さん

伝統の相撲大会 千秋楽



小学生時代同じ土俵で相撲をとった地域住民の協力のもと最後の大会が行われました

円子小でタイムカプセルを開く会 当時の思い出そのまま

本年度で閉校となる円子小学校で八月十三日、閉校記念事業の一貫としてタイムカプセルを開く会が行われました。このタイミングで、同校の創立百周年記念事業として昭和五十二年に埋めたもので、閉校に



開けられると、中からは当時の図画や日記、教科書などがほぼそのままの状態で出てきました。埋設時三年生だった諫訪栄子さん（八戸市、旧姓小林）は、「友だちを描いた絵がでた。五十年後の開封を楽しみにしていたのでちょっと早またのが残念だけど、同級生が協演し、祭りを盛り上げました。また、商工会青年部主催の花火大会では、約千四百発の色鮮やかな花火が夜空を輝かせました。

作太鼓の会「座・宇漢米」と円子よさこい組どっこいしょが協演し、祭りを盛り上げました。また、商工会青年部主催の花火大会では、約千四百発の色鮮やかな花火が夜空を輝かせました。

（関連写真十八、十九ページ）

料理と昔話で感じるわが町

町民講座「軽米『郷土再発見』」



ミレットパークの季節の料理「八朔御膳」を味わう参加者

郷土の歴史や文化を知り軽米のよさを再発見する町民講座「軽米『郷土再発見』」が、八月二日に開催されました。第一回目の今回は寿大学の受講生ら約三十人が参加。ミレットパークの季節メニューや「八朔御膳」を味わったほか、軽米保育園の保育士による昔話の語りを楽しみました。佐々木スズエさん(向高家)は「料理はおいしく昔話も改めて聞いてみて面白かった」と満足していました。本年度は九月と十月に予定されています。

おはなし隊が来町 読書の楽しさ伝えたい

絵本や児童書を積んで全国を巡回しているキャラバンカーとおはなし隊が八月十日に町を訪れ、子ども達に読書の楽しさを伝えました。

町立図書館となりの「蔵」では、おはなし隊による本の読み聞かせや紙芝居が行われました。高橋太陽君は「紙芝居がとても面白かった」と話していました。また、図書館前には、約五百五十冊の本を積んだキャラバンカーが待機し、子ども達は自分が好きな本を手にみんなで楽しく読書をしていました。



キャラバンカーの前で好きな本を手に読書する子ども達

夏休みの作品完成させたい

夏休みこども町民講座

夏休み子ども町民講座は八月三日と五日に中央公民館などで開催されました。今回は、木工体験教室と、図画教室、貝細工教室が、関係団体の協力のもと開かれ、帰省中の子どもなど合わせて三十二人が参加。木工体験で花台を作った高良優果さん(小学三年)(東京都)は「夏休みでおじいちゃんおばあちゃんの家に遊びにきていて参加してみました。くぎを打つのが大変だったけど、きれいに作れてよかったです」と完成了花台を手にしていました。



貝細工教室では大清水浩幸さん(写真左)を講師にきれいなアクセサリーを作りました

岩手大学生が軽米幼稚園で交流 オリジナルの影絵を披露

岩手大学の影絵サークル「SMILE」の学生四十七人は八月二十四日、軽米幼稚園を訪れ影絵を通して園児との交流を行いました。学生ら

は影絵を使ったクイズやオリジナルの影絵「クロとモモのねがいごと」を披露した他、ダンスなどで園児と交流。サークルの代表の佐藤夏菜さん(人文社会科学部二年)は「子どもたちの素敵な笑顔が見れてよかったです」と話していました。若山楓君(五歳)は「影絵がとっても面白かった」と興奮した様子でした。

音更町だより

昭和60年10月31日姉妹提携

夏休み小学生ジャンボ書道講座が行われました。参加した29人の子どもたちは、重さ3キロほどの大きな筆に、「すす」と接着剤を混ぜた特製の墨を使い好きな一字に挑戦。紙いっぱいに「空」「青」「雨」などの文字を一気に書き上げました。

大きな筆で全身を使って書き上げる子どもたち

がん検診の精密検査を受けましょう

丈夫に育つ 元気に働く 健やかに老いる

健康福祉課 上席主任保健師 櫻場 栄子

今年度の健診がすべて終わり、精密検査が必要な方には検診結果をお送りました。精密検査の該当者は、肺がん検診で62名、大腸がん検診111名、前立腺がん検診32名、胃がん検診89名、乳がん検診44名、子宮頸がん検診8名です。

検診は、受けただけでは意味がありません。検査結果を甘く見ず、がんから身を守るために必ず精密検査を受けましょう。そして、もしもがんが見つかった場合は、主治医とよく相談し早期に治療を受けましょう。

また、がん予防のため、年1回の検診のほか、喫煙者は禁煙の努力、野菜を毎食取り入れる、自分に合った運動、体重の維持、女性の方は毎月1回乳がんの自己検診をするなどの習慣づくりを心がけましょう。

交通安全合同街頭キャンペーン 安全運転をお願いします

二戸地区交通安全協会軽米分会(圃田喜一会長)と八戸地区交通安全協会南郷支部などが主催の第十三回夏の交通安全合同街頭キャンペーン



パンフレットやマスクを手渡し安全運転を呼びかけました

全対策関係者ら約三十人が参加。「安全運転をお願いします」と声をかけながら、交通事故防止のパンフレット、交通安全啓発マスクなどを通行車両に配布し、交通事故防止を呼びかけました。

第一回中学校英語暗唱・弁論大会は八月二十七日、農村環境改善セミナーで開催されました。一・二年の三部門に、町内の中学生二十七人が参加。軽米高校の佐藤裕子先生と一戸町のALT二人が、英語の発音や表現力を審査しました。審査の結果、一・二年暗唱の部では田代華奈子さん(軽米中二年)、三年暗唱の部では下谷地優衣さん(軽米中)、弁論の部では小林風花さん(晴山中三年)が第一位に輝きました。



表現豊かに発表が行われました

笑顔あつまれ！みんなの広場

■夢・希望・えんぴつ■



晴山中学校3年（新井田）
田代 千帆 さん

私たちバレーボール部は、中総体で九年ぶりに県大会に出場しました。県大会出場の切符をつかむまでには、先生やコーチの指導、父母会の方々の協力など、たくさん支えがありました。

練習では、辛いこともあります。でも周りのみんなで声をかけ合いで乗り切ることができました。それでも先生やコーチに言われたことが「もつと一つのボールに必死になつて、全員で声をかけなさい」ということでした。練習をしていふときに楽しくもないような無表

情をしている人や、声を出さない人もいました。でも、中総体が近くにつれてチームの顔色もかわり「絆バレー」に変わりました。本番はみんな緊張していましたが、一人ひとりの力を出し切り、コートの中もベンチもみんなで一つなになり「絆バレー」ができました。

私がバレーボールから学んだことは努力の大切さです。どんなにつらくても、努力してがんばれば絶対に勝てるということを教えてもらいました。そのことを忘れずに生活していきたいです。

「絆バレー」でつかんだ勝利

軽米の 埋もれし宝

（21）

（21）

（21）



馬場野II・大日向II遺跡出土のスタンプ形土製品（岩手県蔵）

私がバレーボールから学んだことは努力の大切さです。どんなにつらくても、努力してがんばれば絶対に勝てるということを教えてもらいました。そのことを忘れずに生活していきたいです。

しかし、実際に実物にはスタンプとして使った痕跡は見られず、また土器や粘土などに押しつけた例も見つかっていないことから、名前と使い方とは異なるようですが、耳飾り（耳に空けた穴に直接

付けられています）

しかしながら、「スタンプ形土製品」と名

形から「スタンプ形土製品」と名

付けられています。

しかし、実際に実物にはスタン

プとして使った痕跡は見られず、

また土器や粘土などに押しつけた

例も見つかっていないことから、

名前と使い方とは異なるよう

うでいることが注目されます。

（教育委員会学芸員 藤田直行）



成人式で堂々と成人代表謝辞を述べる外山さん

学んだことを地域の発展に生かしたい



外山 和成 さん
(19歳、蓮台野)
身長173cm、射手座
岩手大学 工学部

しっかりと目を向け考えていかなければならぬですね」と話していました。将来は、研究職か電気系の仕事に就きたいと話す外山さんは。「自分が勉強していることを生かし、地域の発展につながるように頑張っていきたいです」と、成人を迎える気持ちを新たにしていました。

Q、自分の性格を一言で言つと？

負けず嫌いです。

Q、趣味は？

映画鑑賞、ウインドウショッピング（ファッショニンに興味があります）

Q、町をどう思いますか？

とても落ち着くところで好きです。今ま変わらずにいてほしいです。

今月の俳句

（北光吟社七月例句会）

いちじん かいわす ながは やはり なつ

そうちょう かいわす ながは やはり なつ

いちじん かいわす ながは やはり なつ

そうちょう かいわす ながは やはり なつ

いちじん かいわす ながは やはり なつ

生活安全の森

秋の全国交通安全運動

◎運動期間

平成22年9月21日(火)～9月30日(木)までの10日間

◎運動の重点

- ・高齢者の交通事故防止
 - ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止
 - ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・飲酒運転の根絶
- ☆一旦止まって必ず左右を確認しましょう
☆安心を光で届ける反射材を着用しましょう
☆車に乗ったらみんなでシートベルトを！
☆飲酒運転は犯罪です！
- ※昨年、軽米町では「9月以降」に3件3名の交通事故が発生しています。

二戸警察署軽米駐在所 (46-2004)



夕暮れが早まる時期ですので、車のライト早め点灯、歩行者や農作業車の反射材着用などで、交通事故を防ぎましょう。

7月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	1件	3件	-5
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	2人	4人	-4
物損事故	11件	75件	+22
救急車出動回数	33回	196回	-9

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶飲酒運転検挙者

(住所) 小軽米 (年代) 60代 (性別) 男

健康福祉課だより

子ども手当の手続きは9/30まで

子ども手当が、本年4月から始まっています。
中学校終了までのお子さんを養育する方が支給対象となります。

9月30日までに申請しない場合は、申請の翌月分からの支給となり、4月分からの手当は受け取れませんので次の方は忘れずに手続きをしましょう。

◆手続きが必要な人

- ・中学校2、3年生の子どもを養育している方
- ・これまで所得制限により児童手当を受給していなかった方

お父さん、お母さん
子ども手当の手続き
忘れないでね～！



【問い合わせ先】
健康ふれあいセンター内
健康福祉課 (46-4736)

国勢調査

平成22年 国勢調査

調査員がお伺いします

平成22年10月1日に「平成22年国勢調査」を実施します。

国勢調査は5年に1度、全国の世帯を対象に調査を行っています。9月下旬から、国勢調査員が各世帯をお伺いしますので、ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
総務課企画グループ
統計担当 (46-2111)



指そう！はつらつ人生

「家族介護者教室」に参加し、介護力を高めよう

在宅で介護されている家族の皆さん、介護の基本を覚え安心して介護できるように、また少しでも悩みや不安が解消できることを願い、町地域包括支援センターと県立軽米病院が合同で「家族介護者教室」を開催しています。

第1回目は「介護食～調理のひと工夫でおいしく・食べやすく」をテーマに、調理実習や食事介助の仕方について学びました。その後に、介護者の思いを語り合い、同じような思いを家族同士で共有しホッとしたひとときでした。参加者から「トロミ食があることを初めて知った。作り方が分かり大変参考になった」「介護していると時々落ち込んでしまうことがあり、このような集まりがあると自分のためになる」などのお話を聞かれました。



(写真左) 食事介助の仕方を学びました
(写真下) 調理実習でトロミ食の調理に挑戦しました



年々、要介護者が増加する中で、施設入所には限りがあります。在宅で介護力を高めていくことは町全体の大きな課題でもあります。今後とも家族介護者教室を充実させていきたいと考えています。第2回目(11月12日)の介護者家族教室には、介護している方や介護に関心のある方などお気軽に参加し、介護力アップを目指しましょう。

町立図書館 (46-4333)

今月の図書館ひろば

日時：9月25日 10:00～11:00 対象：小学校低学年
場所：町立図書館となり「蔵」 幼児

図書だより

－今月の新刊－

【児童書】

ちいさなボタン、プッチ

作／あさますみ
絵／荒井良二
プッチは、お花の形をした小さなボタン。かわいいエリちゃんのスカートのボタンになったプッチは幸せな日々を過ごします。ところが…。



小さな王さまとかっこわるい竜

作／なかがわちひろ
雨の王国の王さまは、からりと晴れた空を国民にプレゼントするため、空のボタンを求めて旅に出ることに。お供は飛ぶこともできないかっこわるい竜だけ。



【一般書】

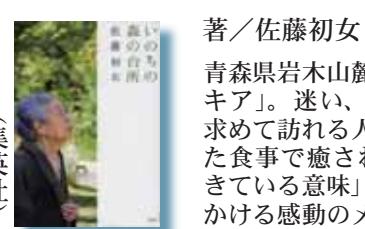
一週間



著／井上ひさし

昭和21年、ハバロフスクの収容所。日本人捕虜・小松修吉は、若き日のレーニンの手紙を密かに入手する。しかしそれを狙うソ連極東赤軍が…。著者最後の長編小説。

いのちの森の台所



著／佐藤初女

青森県岩木山麓の「森のイスキア」。迷い、疲れ、救いを求めて訪れる人は著者の生きた食事で癒されていく。「生きている意味」を静かに問いかける感動のメッセージ。

9月 September

16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木

10月 October

1	金	福祉用具展示会【公】(～2日)
2	土	グリーンデー【町有林向川原事業区】 秋季町長杯中学校新人ソフトテニス1年生大会男女【運】
3	日	第29回町ロードレース大会【役場前発着】
4	月	秋季町長杯ソフトテニスチャンピオン大会男子【運】
5	火	寿大学⑦【公】10:00～ 二戸地区法律相談【消費生活センター】10:00～15:00(要予約 23-5800)
6	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付
7	木	
8	金	
9	土	町長杯岩手県中学生新人KB野球大会【ハ】 軽米高校文化祭【軽米高校】
10	日	第32回町総体・町民体育祭【ハ】 町民健康まつり【ハ】
11	月	【体育の日】 町秋季学童野球新人大会【ハ】
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	

(カレンダー中の【】は開催場所で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場

もしもの時に備えてますか？

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中

宿泊室完備…24時間いつでも病院から直接入室できます。
 お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
24時間受付 電話46-4109

軽米セレモニーホール真照堂
 岩手県九戸郡軽米町大字上館 15-130-1

スナップ写真館

軽米夏まつり
(8月6～8日、町中心部)



各商店会や商 工会青年部に
によるイベント を



訪れたたくさんの人たちが
楽しみました



「宇漢米太鼓」と「円子よさこい組
どっこいしょ」の協演は迫力満点



約1400発の花火が夏の夜空を
彩りました

お知らせ情報 Information

募集します

中高生に読んでほしい
お薦めの一冊を募集

岩手県では、ブックリスト「いわての中高生のためのお薦め図書100選(仮称)」を作成するにあたり、県民の皆さんから下記のとおり中高生に読んでほしいお薦めの一冊を募集します。

▶応募方法：次の事項を記入の上、郵送、持参、FAXまたは電子メール(ワードまたはテキスト形式)でご応募ください。

- ①お薦めの一冊(作品名)、作者名、出版社(者)、お薦めの一言
 - ②連絡先(名前、年齢、住所、電話・FAX番号、E-mail)
 - ※お薦めの一言は必ずご記入ください。
- ▶受付期間：9月30日(木)まで

ご相談ください

司法書士による
成年後見相談会

県司法書士会及び(社)成年後見センター・リーガルサポート岩手支部では下記のとおり無料成年後見相談会を行います。

▶日時：9月20日(月・祝)

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

二戸クリニック (25-5770)	二戸市 石切所	9月19日(日)	窪島歯科医院 (23-2425)	二戸市 福岡
すがわら消化器内科 (23-2879)	二戸市 福岡	20日(月)	沢藤歯科医院 (25-4002)	二戸市 堀野
金田一診療所 (27-2205)	二戸市 金田一	23日(木)	奥中山高原歯科クリニック (35-2951)	一戸町 奥中山
むらかみ医院いたみのクリニック (48-1500)	軽米町 岩崎	26日(日)	こしみず歯科クリニック (33-4618)	一戸町 一戸
よこもり眼科クリニック (22-2230)	二戸市 堀野	10月3日(日)	三澤歯科医院 (23-2445)	二戸市 福岡
千葉耳鼻咽喉科医院 (23-2009)	二戸市 福岡	10日(日)	國香歯科医院(石切所) (23-2764)	二戸市 石切所
小野寺クリニック (46-2822)	軽米町 門前	11日(月)	宮沢歯科医院 (46-2953)	軽米町 元屋町

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

応募先

住所…盛岡市内丸10-1
FAX…019-629-6179
E-mail…iwide.osusume.
book@gmail.com

※応募はお一人様1冊です。

※詳しくは、岩手県公式ホームページをご覧ください。

【応募・問い合わせ先】県教育委員会事務局生涯学習文化課
(019-629-6176)

10:00～15:00

▶場所：岩手県司法書士会館
(盛岡市本町通二丁目12番18号)

▶相談例：ひとり暮らしの今後が不安だ。年金が母のために使われていないみたいだ。遺産分割協議をしたいけれど、相続人の一人が認知症のためできない。など

※電話による無料法律相談も受け付けます。

▶受付電話番号

019-623-3355
019-653-6101

【問い合わせ先】岩手県司法書士会(019-622-3372)

土地家屋についての
無料相談を行います

岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部では、「土地家屋調査士制度制定60周年」を記念して、下記のとおり無料相談を行います。

▶日時：10月9日(土)午前10時から午後3時

▶場所：二戸市シビックセンター

▶相談内容：土地の地目変更・分筆・合筆・地積更正登記、建物の新築・増築登記、境界問題など

【問い合わせ先】岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部・

二戸地区事務局大村(46-2027)

二戸消費生活センター
消費生活相談のご案内

平成22年10月の相談日は次のとおりです。予約制となっていますので電話でご連絡のうえお越しください。

◎法律相談

10月5日(火)、19日(火)

◎お金と暮らし相談

10月8日(金)

◎多重債務相談

10月13日(水)

※場所：二戸消費生活センター(二戸地区合同庁舎内)

【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター(23-5800)

その他

商業・法人登記
取扱庁が盛岡に変更

盛岡法務局二戸支局における商業・法人登記事務については、本年9月27日(月)から、盛岡地方法務局登記部門で取り扱うことになります。

なお、登記事項証明書、印鑑証明書の交付事務のほか、二戸支局の管轄区域内に本店(主た

る事務所)を有する会社・法人についての下記の事務については、引き続き二戸支局でも取り扱います。

- ①印鑑カードの交付、廃止、返納などに関する印鑑カード事務
- ②電子証明書の発行請求、使用廃止、識別符号の変更などに関する電子認証事務

【問い合わせ先】盛岡地方法務局二戸支局(25-4811)、盛岡地方法務局登記部門(019-624-9851)

オータムジャンボ
宝くじの発売開始

▶発売期間
9月27日(月)から10月19日(火)まで

▶賞金
1等：1億5,000万円×13本
前後賞 各5,000万円
2等 1,000万円×130本
3等 50万円×1,300本
4等 5万円×26,000本
5等 3,000円×130万本
秋祭り賞 1万円×39万本
※この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

【問い合わせ先】財団法人岩手県市町村振興協会(019-651-3461)

好評発売中

軽米町産さるなし100%使用
さるなしの露
(甘口、リキュール)
500ml ¥1,260(税込み)

販売元・お問い合わせ
リカーアンドフーズこばやし(TEL 46-2059)

軽米町・青空マーケット

個人・商店 町内の方々が出店！



次回は9月26日

(問)株式会社産業開発(TEL 46-4222)





冠婚葬祭 7月届出分 <敬称略>

おめでた () 内は父母の名

河北工藤 将英 (昌也・希真恵)

おくやみ () 内は享年

牛ヶ沢 大久保 倉 蔵 (84歳)

上円子 蛇口 芳太郎 (91歳)

本町畠澤スエ (96歳)

大沢於本 清八 (86歳)

蜂ヶ塚松浦定見 (85歳)

下円子坂本定蔵 (79歳)
上組

長倉松長根 石太郎 (84歳)

内城内城ナツ (83歳)

沢田工藤貞一 (68歳)

上館小笠原勇吉 (83歳)

山口滝澤タ子 (88歳)

向高家佐々木保三 (86歳)

下新町江刺家 靖 (50歳)

沢里小笠原セツ (87歳)

民田山田澤勝夫 (62歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き <平成22年7月31日現在／町民生活課調べ>

男 5,247人(-3) / 女 5,425人(-2)

合計 10,672人(-5) / 世帯数 3,743(+5)

※()は前月比

転入 17人 (164人) / 転出 9人 (218人)

出生 2人 (28人) / 死亡 15人 (86人)

※()は1月からの累計

-大正琴クラブ-



私たち大正琴クラブ（沖野絹代表、町文化協会所属）は、平成4年11月に結成しました。メンバーは60歳代から80歳代までと、世代を超えて和を深めながら楽しい雰囲気で練習しています。練習は毎週木曜日の午前10時から午後3時まで、町民文化祭や生涯学習フェスティバルなどのイベントのほか、福祉施設などの慰問も行っています。現在会員を募集中です。お琴があればどなたでも参加できますし、ない方もまずは見学に来てみてください。一緒に大正琴を楽しみましょう。

■問い合わせ先：軽米中央公民館 (46-4151)

わ・だ・る・ま・い・こ

我が家の人気者 あこやがさん



シルバニアがお気に入りのみのりちゃんと、アンパンマンが大好きな妹のひかりちゃん。とっても元気で、毎日2人で歌ったり踊ったりケンカしたりと、にぎやかです。

(両親から一言)
元気でのびのび育つ
ね！

(左) 内澤ひかりちゃん (2歳5ヶ月)

(右) みのりちゃん (4歳10ヶ月)

愛称：ひか、みのり、のんのん

(上館) 秀義さん・由紀子さんの長女、次女

ほつとひといき／編集後記

とにかく暑かった今年の夏。残暑も厳しい今日この頃ですが、皆さん体調は崩していませんか？私はなかなか崩れずにここまできました。これも取材先でいろいろな方とお話ししているおかげでしょうか？話をすることで、たくさん元気をもらっているような気がします。

今年の秋祭りは9月18日から3日間の予定です。山車や郷土芸能、消防演習など盛りだくさんですね！もちろん取材に行く予定ですので、カメラを向けられた際には、熱いカメラ目線またはしびれるような太鼓のバチさばきなど、積極的なご協力をお願いします!!(山下)